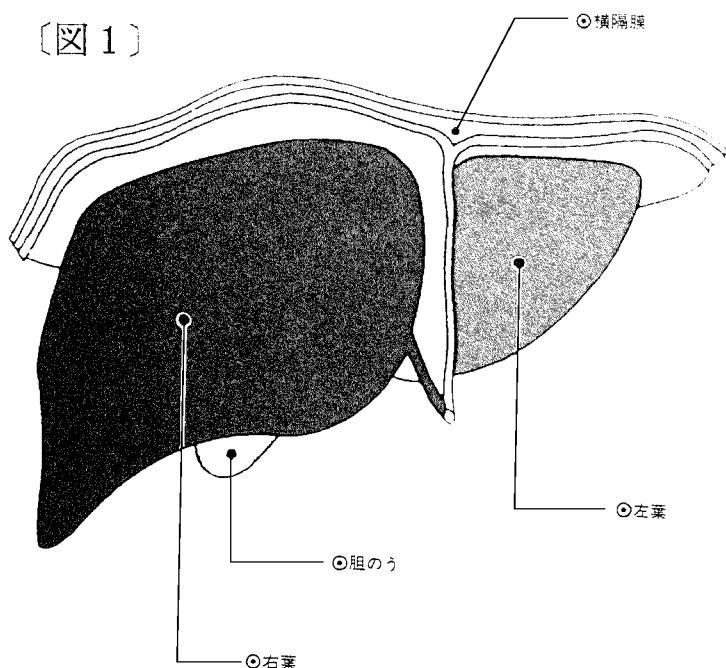


かいたの仕組といたむやく

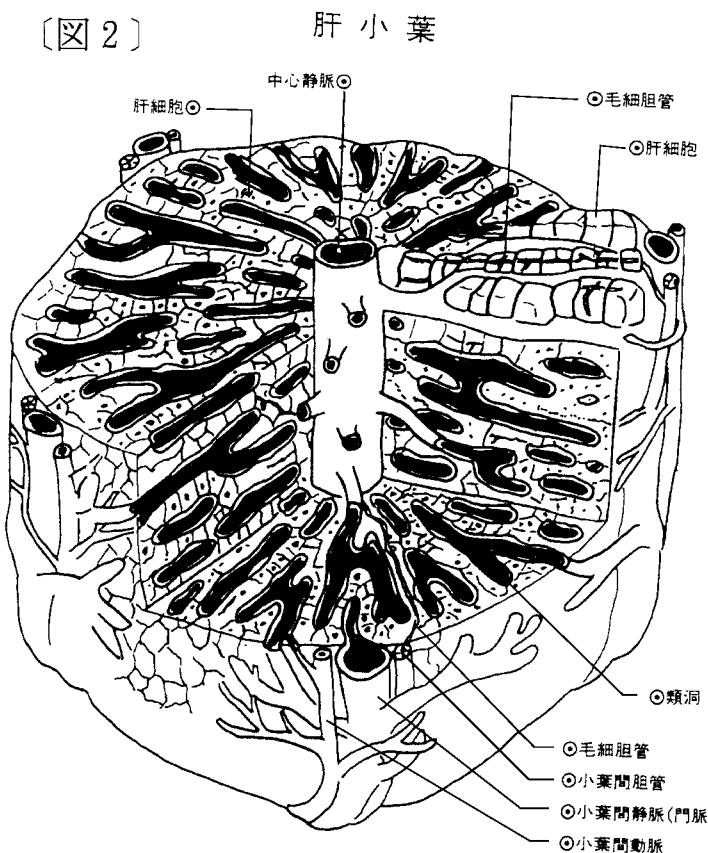
VII

今回は私たちのからだの中で、いちばん大きく、そして化学的な働きをしている、肝心かなめの「肝臓」のお話しです。

1 肝臓の仕組



[図 1]



[図 2]

肝臓は横隔膜のすぐ下にあって肋骨の内側にかくれています。重さ一・五キログラムの、とても大きな臓器です。表面は赤黒くなめらかでつやが有り、腹膜という膜でおおわれています。大きい右葉と小さい左葉の、二つに分かれています。

2 肝臓のはたらき

肝臓には小腸で吸収された栄養

と、その「ブロック」が肝小葉と考えられます。すべての肝小葉はフル操業しているわけではなく、それを約七割がなくとも十分機能を果たせるといわれています。(図 2)

います。(図 1)この肝臓は約五〇万の肝小葉からできています。ひとつずつには、また、それぞれ約五〇万个の肝細胞があり、肝臓を大きな化学工場にたとえると、その「ブロック」が肝小葉と考えられます。すべての肝小葉はフル操業しているわけではなく、それを約七割がなくとも十分機能を果たせるといわれています。(図 2)

胞でつくられた胆汁は毛細胆管という管を経て肝管、胆のう管、胆のうへと送られ、脂肪の消化に使われます。

3 肝臓を大切に

一家を支える父親のようにタフやがて一本に合流し、枝分かれして毛細血管「類洞」になります。類洞に入った血液が、ゆっくりと肝小葉の細胞の中を流れる時、五〇万个の肝細胞一つひとつが瞬時に五百種類もの生化学反応を行います。大きくわざると①タンパク質の「合成」②ブドウ糖や脂質の「代謝」③グリコーゲンなどの「蓄積」④アルコールや薬などからだに有害な物質の「解毒」の四つになります。また肝細

胞でつくられた胆汁は毛細胆管という管を経て肝管、胆のう管、胆のうへと送られ、脂肪の消化に使われます。

日頃、市民の皆さんには献血への深い御理解と御協力をいただき、心から感謝申し上げます。つぎの日程で献血を実施しますので、ご協力を願っています。

献血ご協力のお願い！

